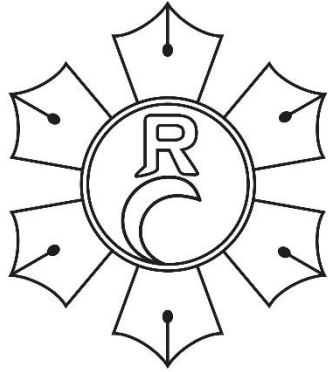
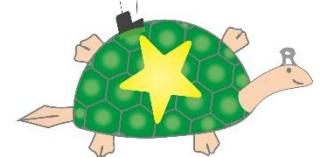


令和7年度 北海道函館聾学校

学校経営方針



函館聾学校マスコットキャラクター



函亀郎（かんきろう）

校長 飯出 広行

1 校訓（目指す子ども像）

広い心で 助け合う子ども

徳育・協働

よく考えて 学ぶ子ども

知育

元気で たくましい子ども

体育

知・徳・体を一体的に（バランスよく）育成し、
自立（自律）・協働・体力向上を目指す。

2 学校教育目標

(知識・技能)

- ・すすんで知識・技能を磨き、課題を解決する子どもを育てる。

(思考力・判断力・表現力)

- ・よく考え、判断し、適切に表現する子どもを育てる。

(学びに向かう力・人間性等)

- ・すすんで学び、たくましく生きる、心豊かな子どもを育てる。

3 教育方針

「**実物・実体験・本物・優れたもの**」に触れさせ、
学ぶ喜びを実感できる授業改善に努めるとともに、
自分の力で考え、判断し、表現できる子どもを
育成する。

4 教育の重点

(1) 言語指導及び言語活動の充実

- ・ 言語活動の基盤となる言語概念の形成

(2) 教科指導の充実

- ・ 「分かる授業」を通した確かな学力の育成
- ・ 学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力の育成

(3) 教育課程の充実

- ・ 子どもの良さを伸ばす指導に努め、全人的な発達と豊かな人格形成

(4) ICTの効果的な活用

- ・ 教育的効果を高める。

(5) 専門性を高める授業改善

- ・ 聴覚障がい教育の専門性の向上

5 経営方針

「**チーム函館聾学校**」として、

学校経営方針への意識を高くもち、

全教職員が協働して業務を推進することで

学校教育目標を達成する。

6 経営の重点

(1) 周年行事・研究成果の実践

- ・ 「創立130周年事業」への組織的な取組
- ・ 北聴研大会で得られた成果と研究まとめ

(2) コミュニティ・スクール（CS）の推進

- ・ 地域学校協働活動（ボランティアバンク）の活用・活性化

(3) センターの機能の発揮

- ・ 聴覚障がい特別支援学校としての機能の発揮

(4) 危機管理意識の高い教育環境整備

- ・ 安心で安全な環境での教育活動の推進

(5) 働き方改革の推進

- ・ 効率的な働き方による、質の高い教育の実践

7 本年度（令和7年度）の重点

- ・「**実物・実体験・本物・優れたもの**」に触れさせる教育活動を効果的に推進する。
- ・**言語指導・教科指導**を充実させ、**確かな学力**の形成を図る。
- ・**ボランティアバンク**を活用した**地域学校協働活動**で効果的な教育活動を推進する。
- ・教職員の**指導技術**と**専門性の向上**を図る**研修**を充実する。
- ・**I C T**を活用した教育実践を更に推進し、教育効果を高める。
- ・**安全・安心な教育環境**で教育活動を推進する。
- ・**質の高い教育活動と効率的な働き方**を実現する。

8

経営理念・ミッション

「個別最適な学び」と 「協働的な学び」の 実現（両立）

本校の小規模をメリットに!
デメリットを協働で!

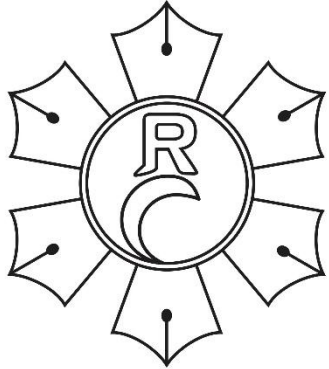
A:交流及び共同学習の充実

【校内】集団の確保【校外】交流校・居住地校交流

B:地域学校協働活動の活性化

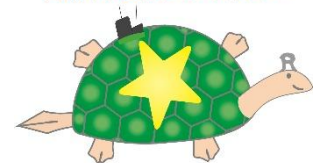
保護者・地域の方々・ボランティアバンク

令和7年度もどうぞよろしくお願いします。



すべては子どものために！

函館聾学校マスコットキャラクター



函亀郎（かんきろう）